

施設概要

■地上部

・広場面積	15,500㎡
・バス乗降場	路線バス 10バース 観光バス 7バース
・タクシー停車場	35台
・自家用車駐車場	62台
・消融雪工	車道部 散水消雪 歩道部 無散水消雪
・歩道上屋(シェルター)	L=354m A=2,338㎡
・植栽	高木(ケヤキ) N=30本 中木 N=79本
・モニュメント	「悠 颯」 造型 日本芸術院会員 蓮田 修吾郎 高さ 19.89m(西暦1989年) 最大横幅 40.00m 主材料 ステンレススチール

■地下部

・地下通路	延長 377m 幅員 3~8m
・車椅子用リフト	1基
・エレベータ	1基
・地下中央広場	627㎡
・レリーフ「新しい光・広がる風」	監修 金沢美術工芸大学教授 小松 暁一 金属 金沢美術工芸大学教授 関 源司 陶芸 金沢美術工芸大学助教授 久世 建二 象嵌 金沢美術工芸大学助教授 中川 衛 寸法 15.0m×1.0m(1面) 11.5m×1.0m(2面)

事業概要

・位置	金沢市広岡町34番地
・総合監修	日本芸術院会員 芦原 義信
・工事期間	昭和62年12月から平成3年3月まで
・事業費	3,000百万円
財源内訳	国費 515百万円 県費 109百万円 市費 1,100百万円 その他 1,276百万円

金沢駅西土地区画整理事業

金沢駅西広場



〒920 金沢市広岡3丁目3番30号

金沢市都市建設部駅西開発課

TEL(0762)20-2720~2723

金 沢 市

ごあいさつ

金沢市長 山 出 保

このたび、金沢駅西広場の工事が竣工致しました。
昭和62年に工事に着工以来、工事は順調に進められ、ここに供用できる運びとなったことは、関係者のご協力の賜であり、まずこのことに対して厚くお礼申し上げます。

金沢駅西広場は、金沢駅西広場整備懇話会の提言を受けて、本市が施行する駅西土地区画整理事業の中で造成したものであり、本来の駅前広場の機能を充足するだけでなく、駅西副都心の拠点にふさわしく、近代的で創造性・芸術性豊かな広場として整備したものであります。この広場の完成により、20年にわたった第1期事業分約104ヘクタールも整備が完了することとなりました。

21世紀に向け、「未来にはばたく中核都市づくり」を基本とし、生気に満ちた国際文化産業都市金沢の建設をめざし街づくりを進めている本市といたしましては、鉄道高架化事業及び金沢駅西広場の完成を弾みとして、未来の金沢の背骨となる都市基本軸の開発並びに金沢駅周辺の整備に全力を尽くしてまいり所存であります。

どうか今後、金沢駅西広場が、多くの人々から親しまれ愛されるよう心から祈念してご挨拶と致します。

金 沢 市 民 憲 章

金沢を愛するわたくしたちは、兼六園の四季のいろどり、犀川・浅野川の清い流れ、山や街の豊かな緑、かおり高い伝統文化を誇りとし、希望と活力にみちたはたらく基盤と、創造性あふれる教育・文化の華さくまちづくりにつとめます。

- 1 ひらこう 世界と未来に心の窓を
- 1 めざそう いきいきと明るいくらしの創造を
- 1 まもろう 美しい心とふるさとの自然を
- 1 つなごう みんなの力でまちづくりの手を
- 1 きずこう 個性ゆたかなあすの金沢を

表紙写真は、広場のシンボルとなるモニュメント「悠風」
(金沢市が市制百周年を記念し建設したもので、未来に向かって悠然と伸びゆく願いがこめられている)

事業経過

- 昭和39年 金沢駅西部地区の開発基本構想の策定
- 昭和43年10月 金沢駅西開発促進協議会設立
- 昭和44年5月 金沢駅西土地区画整理事業都市計画決定
- 昭和45年4月 金沢駅西土地区画整理事業事業計画決定
- 昭和46年7月 金沢駅西土地区画整理事業起工式
- 昭和53年2月 金沢駅周辺整備構想素案(金沢市)で「自動車型広場」として位置づけ
- 昭和53年3月 連続立体交差事業に伴って広場面積を15,500㎡に都市計画決定
- 昭和53年11月 金沢駅西開発協議会設立
- 昭和56年3月 金沢駅周辺整備構想の策定(金沢駅周辺整備構想懇談会設置)
- 昭和57年3月 金沢駅周辺整備計画の策定(金沢駅周辺整備懇談会設置)
- 昭和59年7月～昭和61年1月 第1回～第6回検討会議開催
施設配置について基本計画(案)を策定
- 昭和60年7月 金沢駅西口開設
- 昭和61年2月 金沢駅西土地区画整理事業第1工区換地処分
- 昭和61年3月 高架本体工事着手
- 昭和62年4月 第1回金沢駅西広場整備懇話会開催(計画概要説明・地下道位置について提案)
- 昭和62年6月 第2回金沢駅西広場整備懇話会開催(修正案の提示・モニュメント小委員会設置)
- 昭和62年7月 第3回金沢駅西広場整備懇話会開催(懇話会のまとめ)
- 昭和62年12月 金沢駅西広場工事着手(地下道)
- 平成2年3月 モニュメント設置決定
- 平成2年6月 モニュメント工事着手
旅客線高架化
- 平成2年12月 モニュメント完成
- 平成3年3月 金沢駅西広場竣工
- 平成3年7月 2工区換地処分予定



■施工前



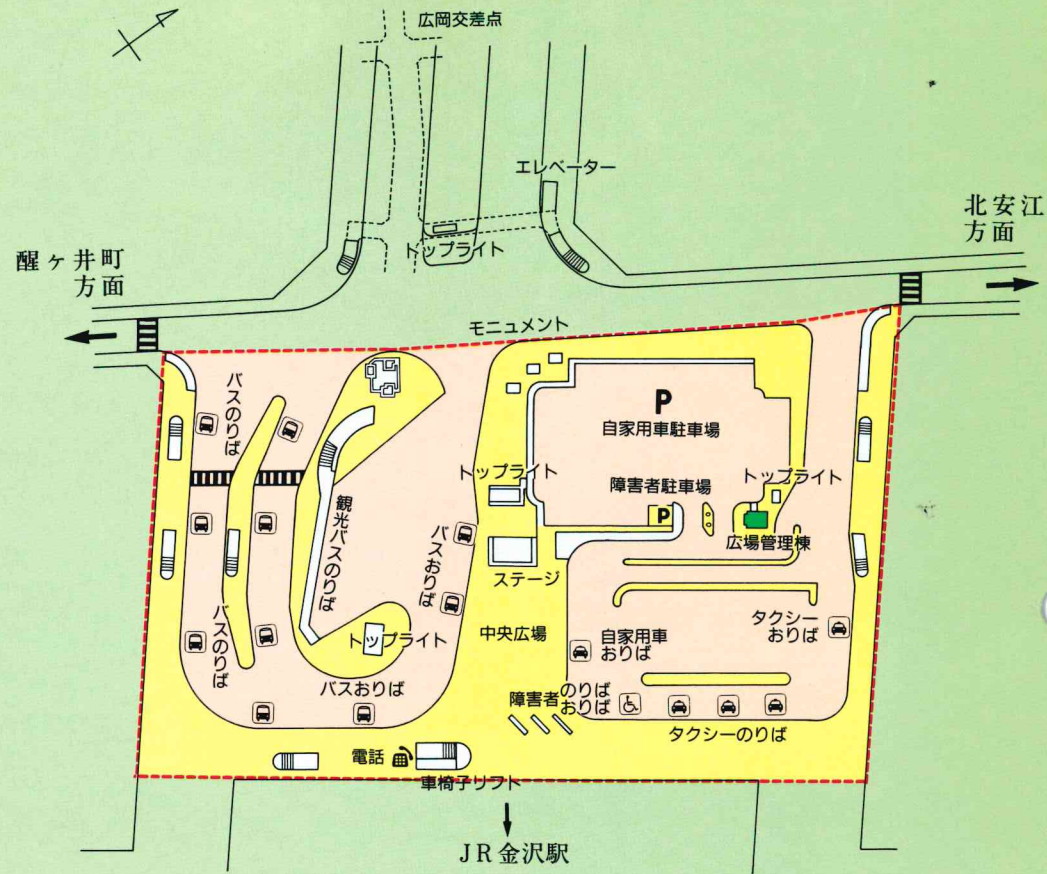
■施工後

駅西副都心の玄関口

(金沢駅西広場全景)



地上部



歩道上屋



中央広場

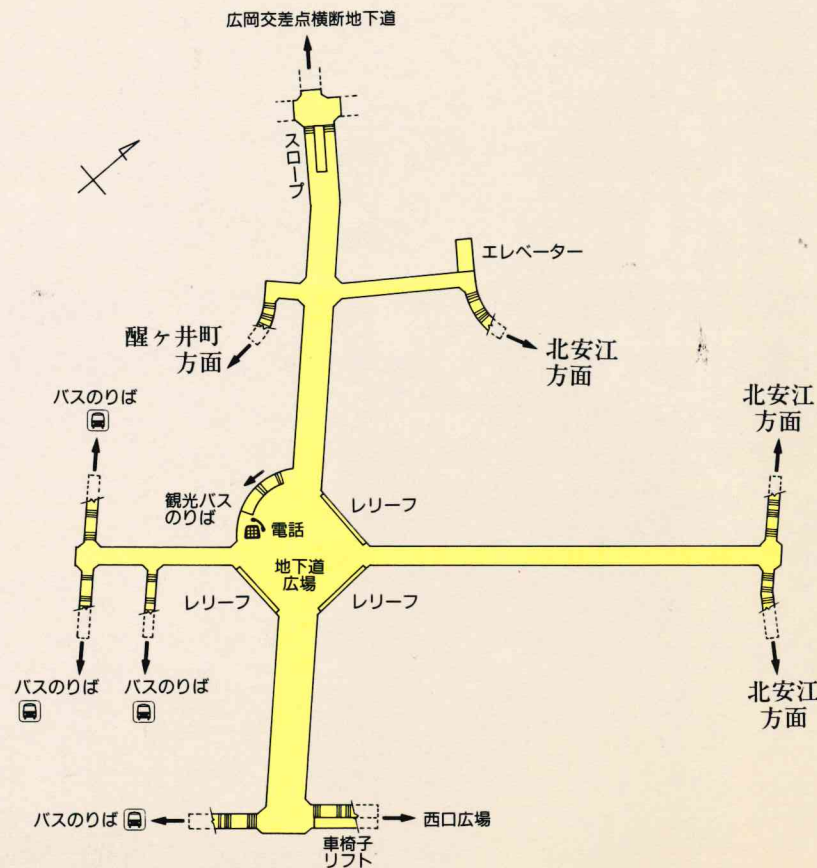


階段上屋(観光バスのりば)



電話ボックス

地下部



地下広場・レリーフ



地下通路



車椅子リフト

ごあいさつ

金沢市長 山 出 保

このたび、金沢駅西広場の工事が竣工致しました。
昭和62年に工事に着工以来、工事は順調に進められ、ここに供用できる運びとなったことは、関係者のご協力の賜であり、まずこのことに対して厚くお礼申し上げます。

金沢駅西広場は、金沢駅西広場整備懇話会の提言を受けて、本市が施行する駅西土地区画整理事業の中で造成したものであり、本来の駅前広場の機能を充足するだけでなく、駅西副都心の拠点にふさわしく、近代的で創造性・芸術性豊かな広場として整備したものであります。この広場の完成により、20年にわたった第1期事業分約104ヘクタールも整備が完了することとなりました。

21世紀に向け、「未来にはばたく中核都市づくり」を基本とし、生気に満ちた国際文化産業都市金沢の建設をめざし街づくりを進めている本市といたしましては、鉄道高架化事業及び金沢駅西広場の完成を弾みとして、未来の金沢の背骨となる都市基本軸の開発並びに金沢駅周辺の整備に全力を尽くしてまいり所存であります。

どうか今後、金沢駅西広場が、多くの人々から親しまれ愛されるよう心から祈念してご挨拶と致します。

金 沢 市 民 憲 章

金沢を愛するわたくしたちは、兼六園の四季のいろどり、犀川・浅野川の清い流れ、山や街の豊かな緑、かおり高い伝統文化を誇りとし、希望と活力にみちたはたらく基盤と、創造性あふれる教育・文化の華さくまちづくりにつとめます。

- 1 ひらこう 世界と未来に心の窓を
- 1 めざそう いきいきと明るいくらしの創造を
- 1 まもろう 美しい心とふるさとの自然を
- 1 つなごう みんなの力でまちづくりの手を
- 1 きずこう 個性ゆたかなあすの金沢を

表紙写真は、広場のシンボルとなるモニュメント「悠風」
(金沢市が市制百周年を記念し建設したもので、未来に向かって悠然と伸びゆく願いがこめられている。)

事業経過

- 昭和39年 金沢駅西部地区の開発基本構想の策定
- 昭和43年10月 金沢駅西開発促進協議会設立
- 昭和44年5月 金沢駅西土地区画整理事業都市計画決定
- 昭和45年4月 金沢駅西土地区画整理事業事業計画決定
- 昭和46年7月 金沢駅西土地区画整理事業起工式
- 昭和53年2月 金沢駅周辺整備構想素案(金沢市)で「自動車型広場」として位置づけ
- 昭和53年3月 連続立体交差事業に伴って広場面積を15,500㎡に都市計画決定
- 昭和53年11月 金沢駅西開発協議会設立
- 昭和56年3月 金沢駅周辺整備構想の策定(金沢駅周辺整備構想懇談会設置)
- 昭和57年3月 金沢駅周辺整備計画の策定(金沢駅周辺整備懇談会設置)
- 昭和59年7月～昭和61年1月 第1回～第6回検討会議開催
施設配置について基本計画(案)を策定
- 昭和60年7月 金沢駅西口開設
- 昭和61年2月 金沢駅西土地区画整理事業第1工区換地処分
- 昭和61年3月 高架本体工事着手
- 昭和62年4月 第1回金沢駅西広場整備懇話会開催(計画概要説明・地下道位置について提案)
- 昭和62年6月 第2回金沢駅西広場整備懇話会開催(修正案の提示・モニュメント小委員会設置)
- 昭和62年7月 第3回金沢駅西広場整備懇話会開催(懇話会のまとめ)
- 昭和62年12月 金沢駅西広場工事着手(地下道)
- 平成2年3月 モニュメント設置決定
- 平成2年6月 モニュメント工事着手
旅客線高架化
- 平成2年12月 モニュメント完成
- 平成3年3月 金沢駅西広場竣工
- 平成3年7月 2工区換地処分予定



■施工前



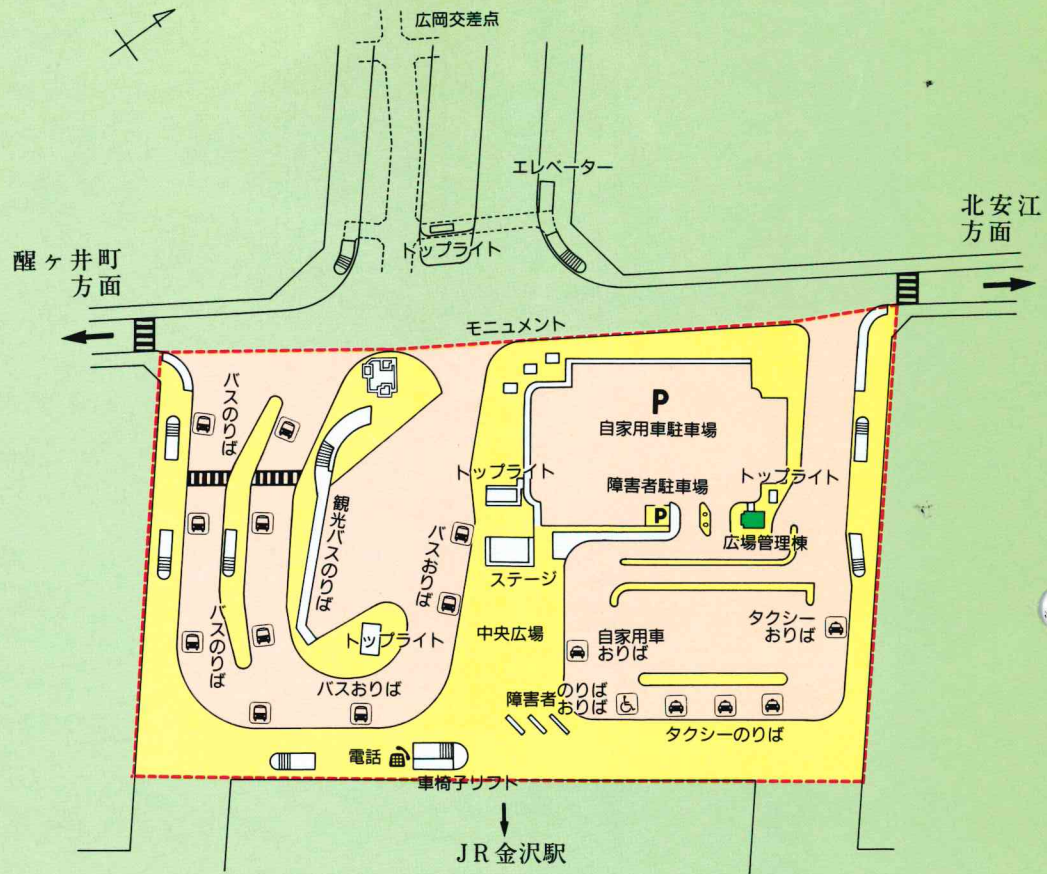
■施工後

駅西副都心の玄関口

(金沢駅西広場全景)



地上部



歩道上屋



中央広場

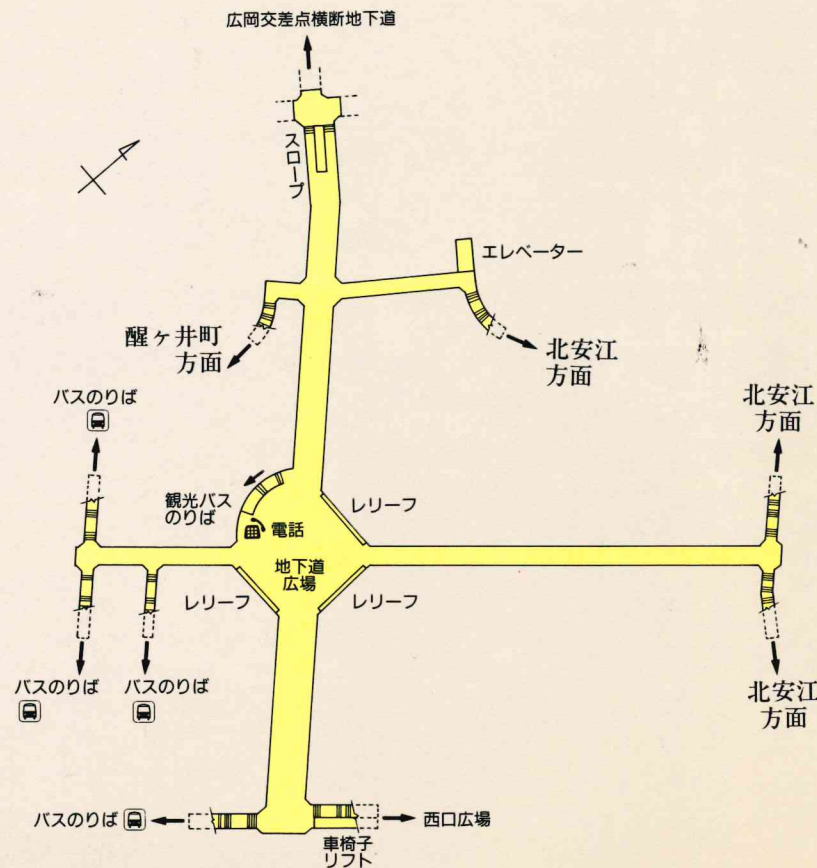


階段上屋(観光バスのりば)



電話ボックス

地下部



地下広場・レリーフ



地下通路



車椅子リフト